

## 第2章 母子保健の現状

### 1 人口動態、母子統計にみる岩泉町の特徴

#### (1) 人口の推移

当町の人口は、国勢調査の結果から昭和35年の27,813人をピークに減少し、平成22年は10,804人と平成17年の11,914人に比べ1,110人減少しています。

また、平成22年における年少人口（0～14歳）は、生産年齢人口（15～64歳）の割合が51.8%に減少したことと出生率の低下に伴い、総人口に占める割合が10.4%に低下しているのに対し、老年人口（65歳以上）は、医療技術の発達などにより平均寿命が延びたことから37.8%に増加しており、少子高齢化が進んでいることがうかがえます。

#### (2) 世帯

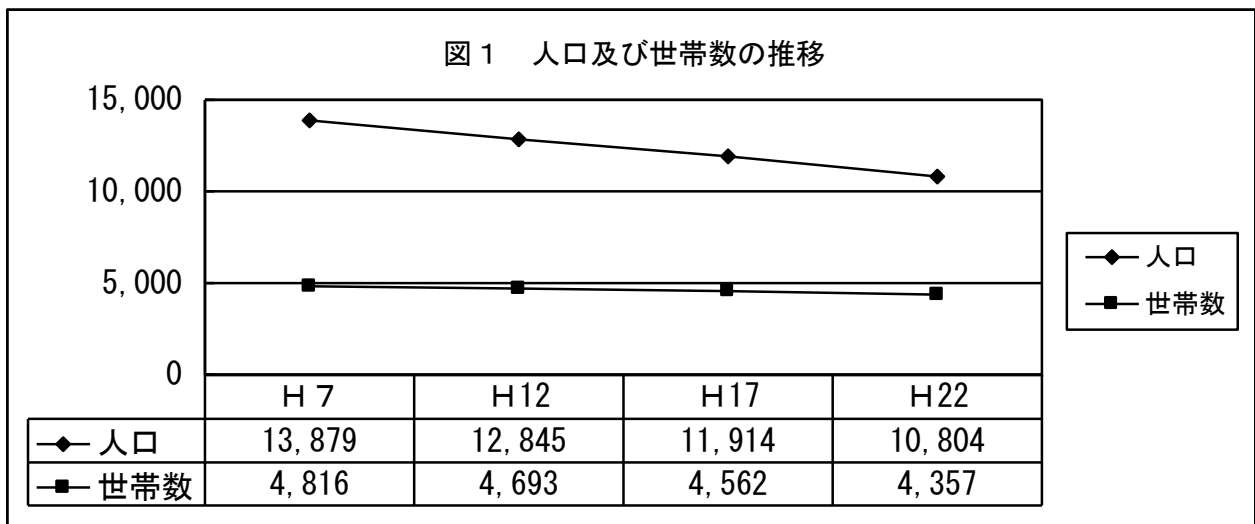
世帯数、世帯員数ともに減少傾向にあり、平成22年の国勢調査では、4,357世帯となっており、1世帯当たりの人数は2.47人と減少しています。

表1 人口と世帯数の推移

区分	単位	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
総人口	人	13,879	12,845	11,914	10,804
0～14歳	人	2,253 (16.2)	1,761 (14.6)	1,399 (11.7)	1,121 (10.4)
15～64歳	人	8,416 (60.7)	7,335 (56.2)	6,431 (54.0)	5,599 (51.8)
65歳以上	人	3,210 (23.1)	3,749 (29.2)	4,084 (34.3)	4,084 (37.8)
総世帯数	世帯	4,816	4,693	4,562	4,357
1世帯あたり	人	2.88	2.73	2.61	2.47

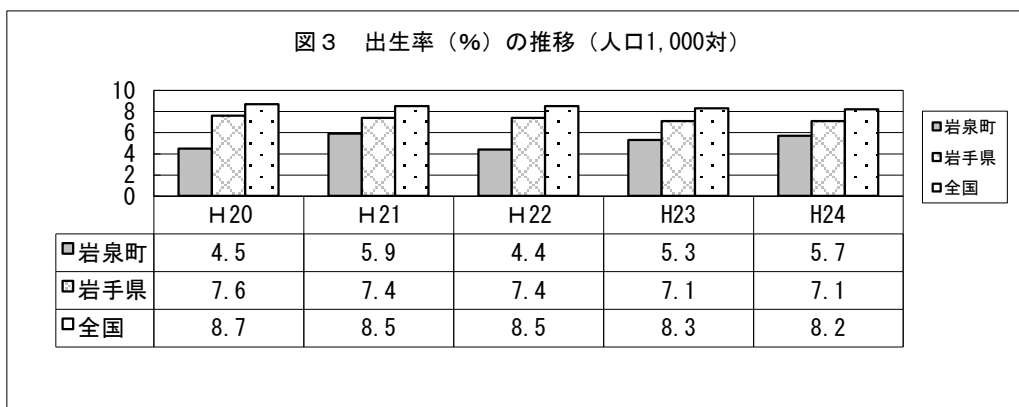
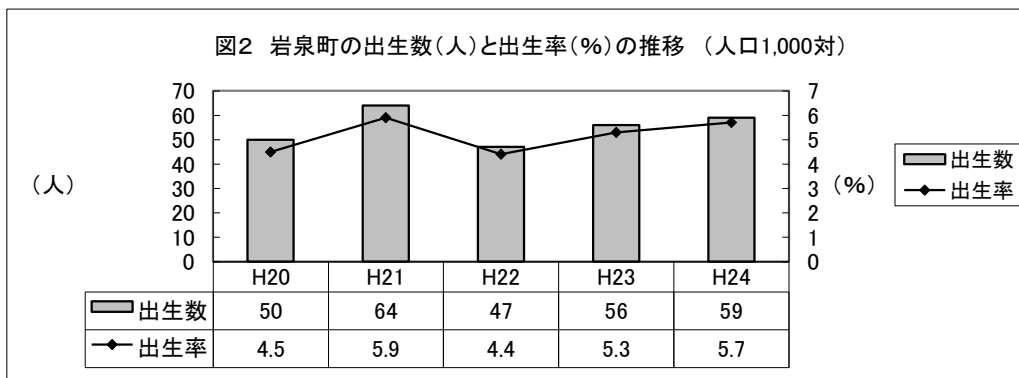
( ) 内数値は構成比%

【資料：岩泉町まちづくり総合計画・国勢調査】



(3) 出生数と出生率

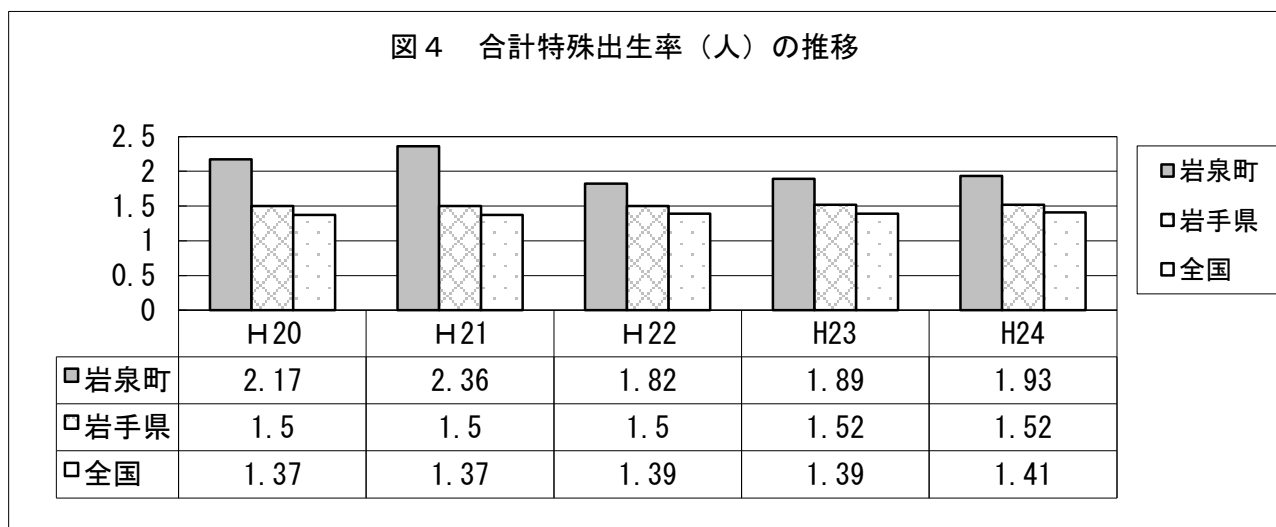
この5年間の本町の動向は、図2、図3のとおりで、出生率については、全国・岩手県が減少しているのに対し増減を繰り返しています。しかし、今後も少子化傾向は続いていくことが予想されます。



【図 2.3 資料：人口動態統計、岩手県保健福祉年報】

(4) 合計特殊出生率

1人の女性が一生の間に産むと推定される子どもの数を示す合計特殊出生率は、図4のとおりで、全国・岩手県と比較すると、数値は上回っています。



【資料：人口動態統計、岩手県保健福祉年報 ※ 岩泉町と岩手県の合計特殊出生率の算出には、過去5年間の平均値を用いている】

(5) 乳児死亡

乳児死亡は、保健事業の活発な活動の成果により改善されました。今後も、地域保健と地域医療の連携をとり、妊娠期からの異常の早期発見、早期治療に努めるのはもちろんのこと、生まれてからの療育医療体制や保健指導を充実させていくことが重要となっています。

表2 岩泉町の乳児死亡数（人）

年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
死亡数	0	0	0	0	0

【資料：岩手県保健福祉年報】

表3 乳児死亡率（%）の推移

年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
岩泉町	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
岩手県	3.5	3.5	2.7	4.6	2.9
全国	2.6	2.4	2.3	2.3	2.2

【資料：人口動態統計、岩手県保健福祉年報】

表4 岩泉町の周産期死亡数（人）

年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
死亡数	0	1	0	0	0

【資料：岩手県保健福祉年報】

表5 周産期死亡率（%）の推移

年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
岩泉町	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0
岩手県	5.4	5.4	6.0	4.9	6.0
全 国	4.3	4.2	4.2	4.1	4.0

【資料：人口動態統計、岩手県保健福祉年報】

表6 岩泉町の死産数（人）

年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
死産数	2	1	4	2	4

【資料：岩手県保健福祉年報】

## 2 一般保健事業

### 【妊産婦】

当町は、町内に産婦人科専門医がなく、医療及び保健指導を受ける機会が少ないことから、行政・地域のサポート体制を整備し、妊娠、分娩、育児にあたる母性各期における知識の普及を図り、支援を行っています。

#### (1) 母子健康手帳交付

妊娠届出時に町民課及び各支所の窓口で随時交付しています。

表7 妊娠届出状況（単位：件、％）

年 度	届出数	11週以内	12～21週	22～27週	28週以上	不詳
平成14年度	91	62 (68.1)	16 (17.6)	3 (3.3)	3 (3.3)	7 (7.7)
平成19年度	58	38 (65.5)	28 (48.3)	1 (1.7)	1 (1.7)	0
平成23年度	63	56 (88.9)	5 (7.9)	2 (3.2)	0	0
平成24年度	63	61 (96.8)	2 (3.2)	0	0	0
平成25年度	43	37 (86.0)	6 (14.0)	0	0	0

#### (2) 妊婦一般健康診査受診票交付

平成20年度から、母子健康手帳交付時に、1人につき14枚（転入者においては妊娠週数に応じて）交付しています。（平成19年度までは、1人につき6枚交付）

表8 妊婦一般健康診査受診票交付及び利用状況

年 度	交付数(枚)	利用数 (枚)	利用率 (%)
平成14年度	554	533	96.2
平成19年度	356	250	70.2
平成23年度	945	747	79.0
平成24年度	927	793	85.5
平成25年度	658	601	91.3

### (3) 妊産婦訪問指導

参加者の減少から、平成 23 年度から母親教室を中止し、妊産婦個別保健指導で対応しています。

就労妊婦の割合が高く、訪問指導が難しい場合は、電話や所内面接等で対応しています。

表 9 訪問指導件数 (単位：人)

妊産婦	年 度	平成 14 年度	平成 19 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	実人員	138	113	60	119	104
延人員	164	131	61	123	117	

### (4) 電話相談・来所相談

随時実施しています。

## 【乳幼児】

当町は、町内に専門医がないため、乳幼児の診察、育児指導を受ける機会が少ないことから、育児能力の向上を図るため、健康診査時、訪問指導時等あらゆる場面において育児支援を行っています。

#### (1) 乳児一般健康診査受診票交付

出生届出時に 1 人につき 3 枚交付しています。

表 10 乳児一般健康診査受診票交付及び利用状況

年 度	交付数 (枚)	利用数(枚)	利用率 (%)
平成 14 年度	327	121	37.0
平成 19 年度	235	80	34.0
平成 23 年度	165	60	36.4
平成 24 年度	188	73	38.8
平成 25 年度	177	60	33.9

## (2) 乳幼児健康診査

小児科医を依頼し、定期的に健康診査を実施しています。

健康診査時に、精密検査が必要と判断された乳幼児に対しては、受診券を発行して医療機関の受診を勧奨します。

表 11 乳幼児健康診査実施状況

年 度	開催数(回)	対象者(人)	受診者(人)	受診率 (%)	要指導者数 (人)	精 密 検 査 受診数 (人)
平成 14 年度	19	651	509	78.2	77	1
平成 19 年度	12	456	388	85.1	47	0
平成 23 年度	12	339	267	78.8	13	1
平成 24 年度	20	168	142	84.5	14	0
平成 25 年度	15	185	165	89.2	38	2

## (3) 離乳食指導

平成 24 年度から、初期の離乳食教室を再開し、離乳食の基本を指導しています。その後も乳児健康診査時にフードモデルなど活用して、栄養士を中心に個別に継続指導を行っています。

表 12 離乳食教室実施状況

年 度	開催数(回)	参加数	
		人数	親子組
平成 24 年度	5	65	32
平成 25 年度	6	87	40

## (4) 1歳6か月児健康診査

身体、精神面の発達状況を把握するため、小児科医を依頼して実施しています。

表 13 1歳6か月児健康診査実施状況

年 度	開催数 (回)	対象者(人)	受診者(人)	受診率 (%)	要指導者数 (人)	精 密 検 査 受診数 (人)
平成 14 年度	6	86	75	87.2	11	0
平成 19 年度	6	60	60	100.0	8	0
平成 23 年度	7	70	67	95.7	11	5
平成 24 年度	6	57	54	94.7	12	1
平成 25 年度	9	62	61	98.4	18	2

(5) 親子ふれあいすくすく教室（2歳児健康診査）

平成18年度からテーマ別に一人2回対象とし、親子の遊びを中心に、歯科健診、身体測定、おやつ指導、育児指導を実施しています。

表14 親子ふれあいすくすく教室実施状況

年 度	歯科健康診査			おやつ・身体測定		
	対象者(人)	受診者(人)	受診率(%)	対象者(人)	受診者(人)	受診率(%)
平成18年度	77	53	68.8	77	37	48.1
平成19年度	81	67	82.7	81	70	86.4
平成23年度	69	48	69.6	81	60	59.3
平成24年度	60	42	70.0	60	43	71.7
平成25年度	66	49	74.2	65	49	75.4

(6) 3歳児健康診査

小児科医を依頼し、身体・精神面の発達のほか、尿検査、視力・聴力検査も併せて実施しています。

表15 3歳児健康診査実施状況

年 度	開催数(回)	対象者(人)	受診者(人)	受診率(%)	要指導者数(人)	精密検査受診数(人)
平成14年度	4	83	74	89.2	22	4
平成19年度	6	72	67	93.1	13	5
平成23年度	7	73	69	94.5	12	8
平成24年度	6	59	55	93.2	13	8
平成25年度	9	63	63	100.0	17	15

(7) 保健指導、栄養指導

各種健康診査時に実施しています。

(8) 乳児期の栄養状況

妊娠期からの関わりによる母乳栄養推奨に重点を置いています。

表16 1か月児の母乳栄養状態(%)

年 度	母乳	混合	人工
平成19年度	50.0	43.3	6.7
平成23年度	55.2	43.3	1.5
平成24年度	57.4	38.9	3.7
平成25年度	48.3	44.8	6.9

【がん等疾病予防等システム（1歳6か月児）より】



(9) 電話相談、来所相談

随時実施しています。

(10) 予防接種

医療機関への委託と町外医療機関へは依頼書を発行して実施しています。

表 17 予防接種接種率（平成 25 年度）

予防接種名	対象者（人）	接種者（人）	接種率（%）
4種混合	293	227	77.5
三種混合	54	44	81.5
不活化ポリオ	151	93	61.6
二種混合	81	76	93.8
BCG	50	49	98.0
麻しん風しん	130	128	98.5
日本脳炎	686	569	82.9
肺炎球菌	360	293	81.4
ヒブ	295	291	98.6
子宮頸がん	40	7	17.5
インフルエンザ	985	703	71.4

(11) 乳幼児訪問指導

里帰り出産、長期間の里帰り等により、早期に訪問できない場合は、乳児期の訪問や乳児健康診査時に状況を把握して指導を行っています。

表 18 訪問指導実施人数（単位：人）

年 度	新 生 児		低出生体重児		新生児を除く乳児		幼 児		参考 (年出 生数)
	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	
平成 14 年度	22	23	—	—	74	101	43	52	111
平成 19 年度	35	38	2	2	29	37	64	95	78
平成 23 年度	10	10	0	0	32	34	20	23	56
平成 24 年度	13	13	2	2	54	70	55	81	59
平成 25 年度	23	24	4	4	40	48	66	92	64

(12) わくわく教室（在宅心身障害児集団指導）

宮古児童相談所や子育て支援センターと連携して療育の知識・技術の支援や育児不安の解消・仲間作りの場の提供を行っています。

表 19 わくわく教室の実施状況

年 度	開催数 (回)	対象児 (親子組)	参加数 (延人数)
平成 15 年度	12	7	44
平成 19 年度	12	11	107
平成 23 年度	9	4	50
平成 24 年度	11	4	66
平成 25 年度	12	7	74

(13) 赤ちゃんふれあい体験学習

生命の尊さや、人を思いやる心を育てるために、中学生を対象に、赤ちゃんとふれあう機会を設けています。

表 20 赤ちゃんふれあい体験学習実施状況

年 度	開催数 (回)	参加人数 (延人数)	参加校 (校)
平成 17 年度	4	96	2
平成 19 年度	3	133	1
平成 23 年度	6	98	3
平成 24 年度	4	103	2
平成 25 年度	4	100	2

(14) 妊産婦通院費補助事業

町内に住む妊産婦の経済的負担を軽減し、安全で安心な出産を迎えられるように、町外の医療機関への通院に係る経費の一部を町が補助しています。

表 21 妊産婦通院費補助事業実施状況

年 度	対象数 (人)	助成数 (人)	申請率 (%)
平成 22 年度	39	38	97.4
平成 23 年度	59	59	100
平成 24 年度	60	60	100
平成 25 年度	54	54	100

(15) 特定不妊治療費助成事業

経済的負担を軽減するため、平成17年度から、町内に住所のある特定不妊治療を受けた夫婦に対して、県の治療費助成制度に上乗せをして助成を行っています。

表 22 妊産婦通院費補助事業実施状況

年 度	助成件数 (件)
平成 17 年度	1
平成 19 年度	2
平成 23 年度	1
平成 24 年度	1
平成 25 年度	1

### 3 歯科保健事業

生涯にわたり健康な食生活を営むためには、特に乳幼児期における健全な顎や口腔の育成とそのための歯周疾患の予防が重要です。

当町の平成 25 年度乳幼児歯科健康診査におけるむし歯のある者の割合は、1 歳 6 か月児で 1.64%と県平均の 1.88%を下回り、また 3 歳児においても 23.81%と県平均の 24.31%より低い状況となりました。

このことから、今後も歯科医師と連携しながら、乳幼児とその家族に対する口腔衛生指導や口腔機能向上の普及啓発を図ることが必要である。

#### (1) 妊婦歯科健康診査

表 23 妊婦歯科健康診査実施状況

年 度	開催数 (回)	受診者 (人)	むし歯数 (本)		歯石 (人)		歯周病 (人)	
			処置歯	未処置歯	有	無	有	無
平成 14 年度	4	11	129	29	4	7	4	7
平成 19 年度	4	19	219	61	6	13	1	18
平成 23 年度	3	5	33	13	0	5	0	5
平成 24 年度	5	10	69	9	1	9	1	9
平成 25 年度	4	4	25	2	2	2	0	4

#### (2) 幼児歯科健康診査 (1 歳児・1 歳 6 か月児・2 歳児・2 歳 6 か月児・3 歳児)

表 24 1 歳児歯科健康診査実施状況

年 度	開催数 (回)	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	むし歯 保有者 (人)	むし歯 有病者率 (%)	1 人平均 むし歯本数 (本)	フッ化物 塗布者率 (%)
平成 14 年度	4	91	81	89.0	2	2.5	0.1	98.8
平成 19 年度	4	56	52	92.9	0	0.0	0.0	98.1
平成 23 年度	4	68	50	73.5	0	0.0	0.0	98.0
平成 24 年度	4	62	49	79.0	0	0.0	0.0	100.0
平成 25 年度	6	71	62	87.3	0	0.0	0.0	100.0

表 25 1歳6か月児歯科健康診査実施状況

年 度	開催数 (回)	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	むし歯 保有者 (人)	むし歯 有病者率 (%)	1人平均 むし歯本数 (本)	フッ化物 塗布者率 (%)
平成 14 年度	6	86	75	87.2	7	9.4	0.24	100.0
平成 19 年度	6	60	60	100.0	0	0.0	0.00	100.0
平成 23 年度	7	70	66	94.2	4	6.1	0.17	98.5
平成 24 年度	6	57	54	94.7	1	1.85	0.02	100.0
平成 25 年度	9	62	61	98.4	1	1.64	0.07	100.0

図5 1歳6か月児むし歯有病者率(%)

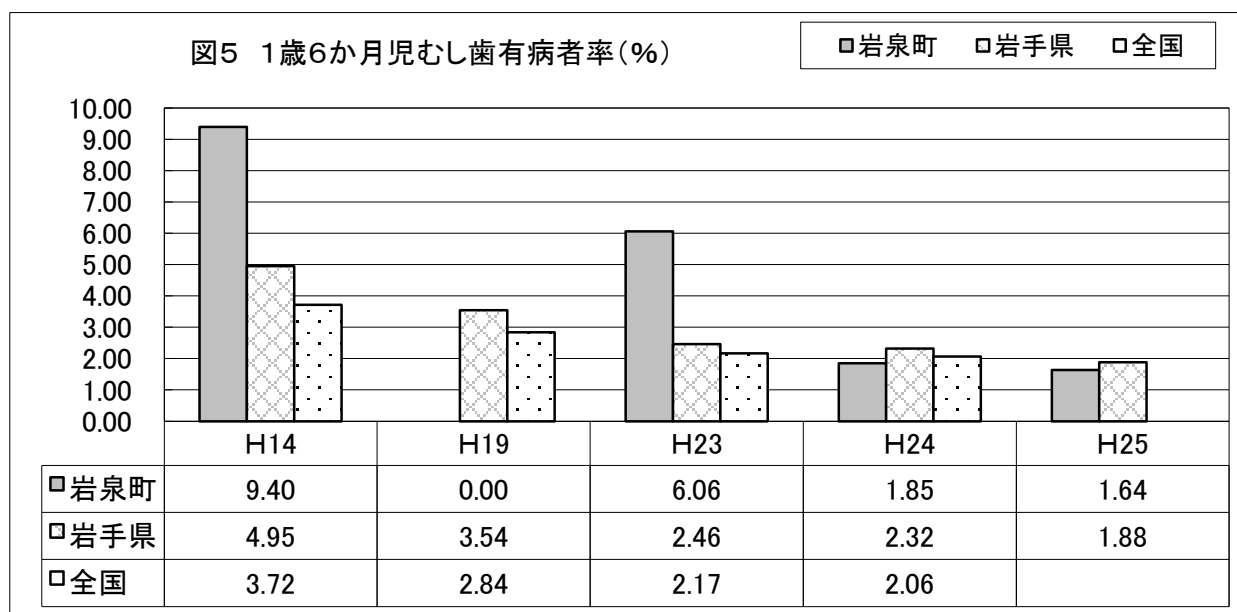


図6 1歳6か月児1人平均むし歯数(本)

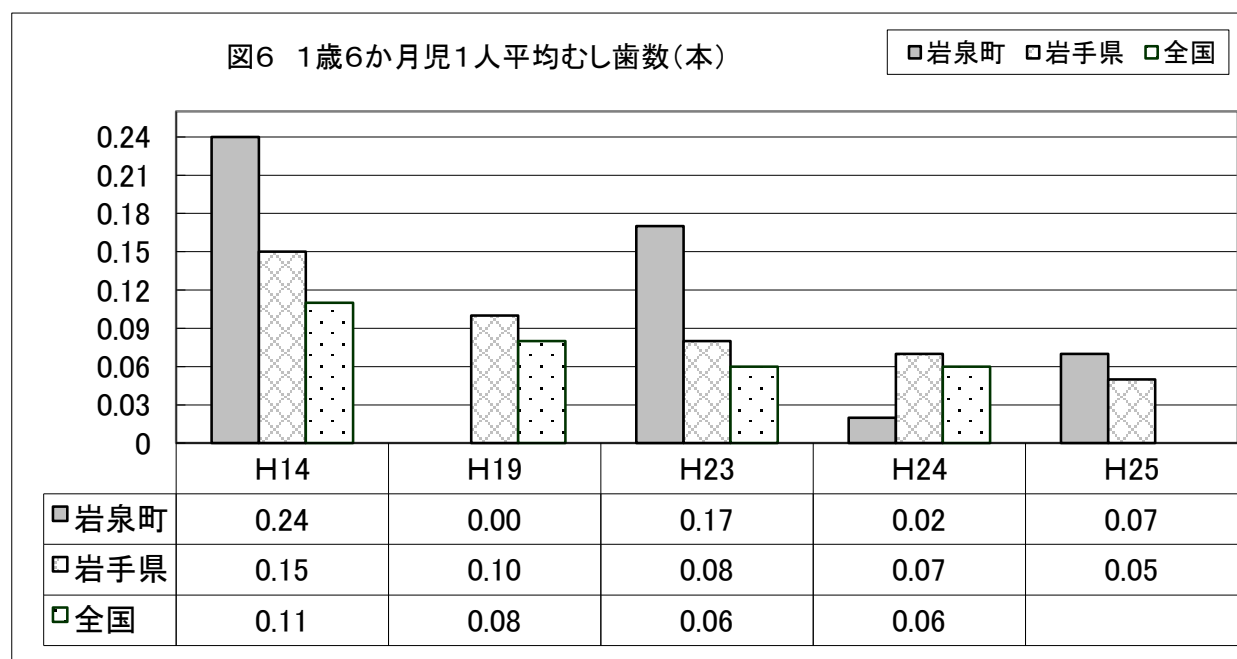


表 26 2歳児歯科健康診査（親子ふれあいすくすく教室）実施状況

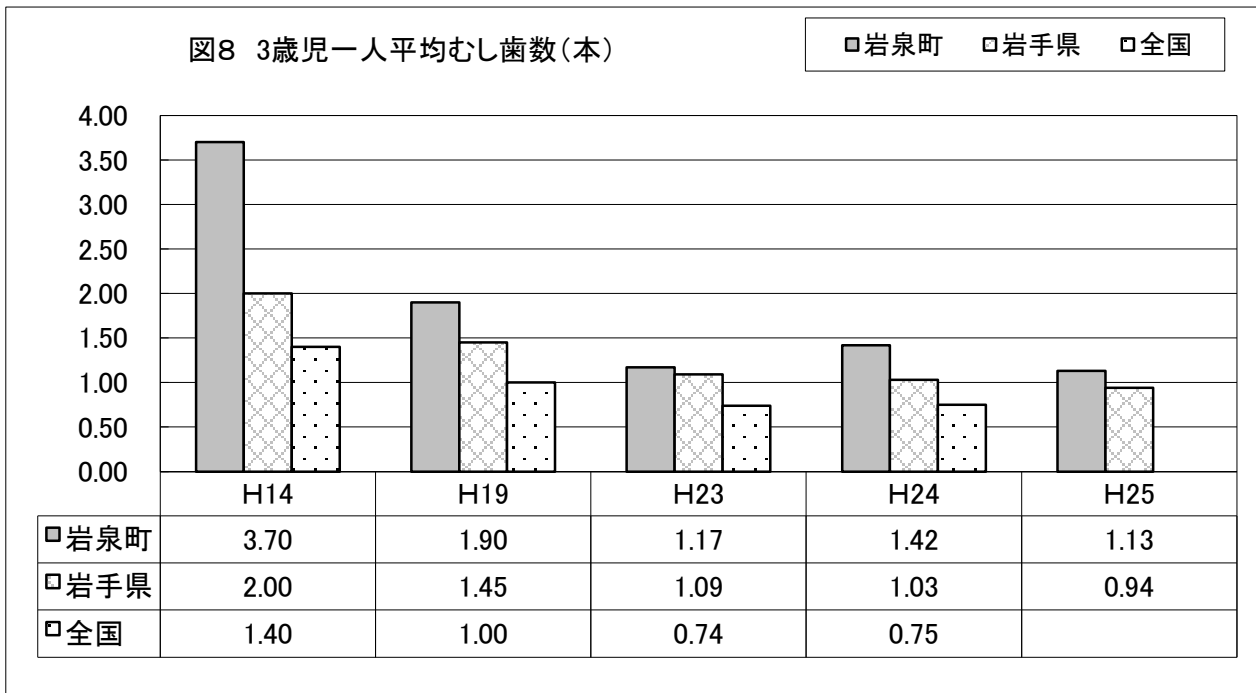
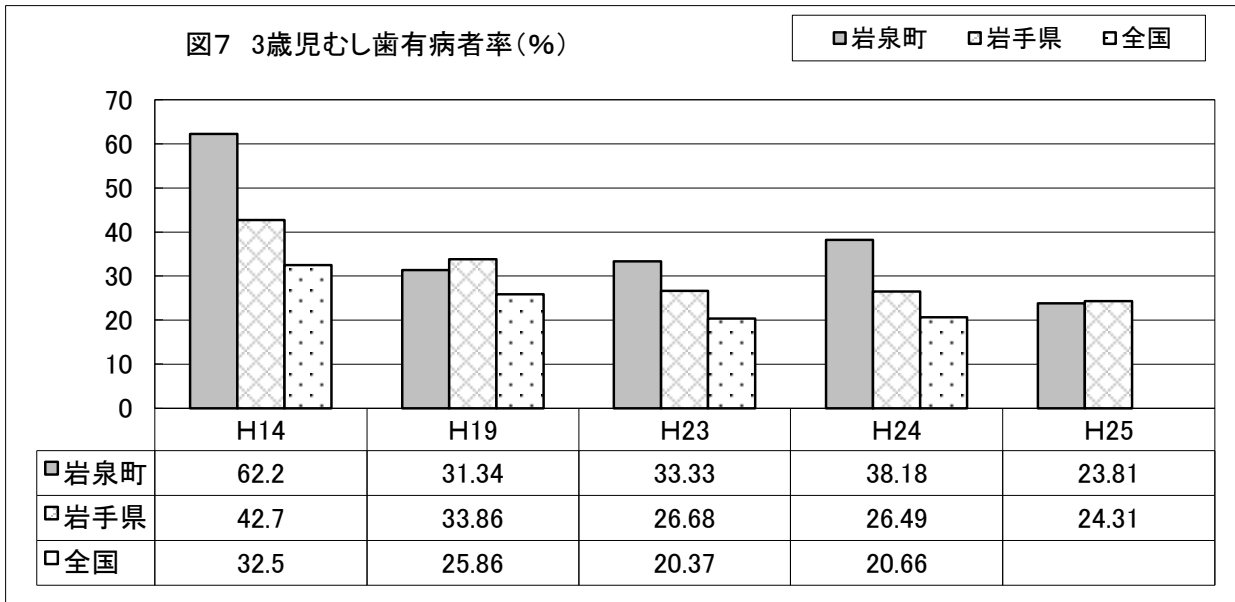
年 度	開催数 (回)	対 象 者 (人)	受 診 者 (人)	受診率 (%)	むし歯 保有者 (人)	むし歯 有病者率 (%)	1人平均 むし歯本数 (本)	フッ化物 塗布者率 (率)
平成 14 年度	3	86	64	74.4	15	23.4	0.78	96.9
平成 19 年度	4	74	67	90.5	8	11.9	0.52	91.0
平成 23 年度	4	80	48	60.0	5	10.4	1.98	97.9
平成 24 年度	4	66	42	63.6	3	7.14	0.58	97.6
平成 25 年度	4	61	49	80.3	4	8.16	0.24	100.0

表 27 2歳6か月児歯科健康診査実施状況（H21～開始）

年 度	開催数 (回)	対 象 者 (人)	受 診 者 (人)	受診率 (%)	むし歯 保有者 (人)	むし歯 有病者率 (%)	1人平均 むし歯本数 (本)	フッ化物 塗布者率 (率)
平成 21 年度	4	49	39	79.6	10	25.6	1.10	100.0
平成 22 年度	4	72	56	77.8	7	12.5	0.33	98.2
平成 23 年度	4	68	35	51.4	6	17.1	0.63	97.1
平成 24 年度	4	71	49	69.0	5	10.2	0.31	100.0
平成 25 年度	6	62	46	74.2	5	10.9	0.48	100.0

表 28 3歳児歯科健康診査実施状況

年 度	開催数 (回)	対 象 者 (人)	受 診 者 (人)	受診率 (%)	むし歯 保有者 (人)	むし歯 有病者率 (%)	1人平均 むし歯本数 (本)	フッ化物 塗布者率 (率)
平成 14 年度	4	83	74	89.2	46	62.2	3.70	100.0
平成 19 年度	6	71	67	90.5	21	31.3	1.90	91.0
平成 23 年度	7	73	69	94.5	23	33.3	1.17	94.2
平成 24 年度	6	59	55	93.2	21	38.2	1.42	100.0
平成 25 年度	9	63	63	100.0	15	23.8	1.13	98.4



1歳6か月児歯科健診では、平成19年度にむし歯有病者ゼロを達成することができたが、平成21年度より再増加しています。このことから、むし歯有病者ゼロを目標に保護者に対する歯科保健指導やむし歯罹患リスクが高い子に対する訪問による個別指導を実施しています。

一方、3歳児においては、むし歯有病者数は減少傾向にあるものの、1人平均むし歯数は岩手県平均を上回っていることから、岩手県平均を下回ることを目標に歯科保健指導を行っています。

(3) こども園、保育園等におけるフッ化物洗口・歯みがき指導

歯みがき指導は、各施設の園児全員に対して年 2 回実施し、フッ化物洗口は、4・5歳児を対象として平成8年度から希望者に実施しています。

表 29 フッ化物洗口の実施状況

年 度	対象者 (人)	希望者 (人)	実施率 (%)
平成 14 年度	162	158	97.5
平成 19 年度	173	167	96.5
平成 23 年度	127	127	100.0
平成 24 年度	127	124	97.6
平成 25 年度	114	112	98.2

表 30 保育園等における歯みがき指導実施状況

年 度	保育園		学校	
	開催数 (回)	実施人数 (人)	開催数 (回)	実施人数 (人)
平成 14 年度	32	694	2	65
平成 19 年度	22	552	6	180
平成 23 年度	19	496	4	88
平成 24 年度	20	421	7	181
平成 25 年度	21	426	7	185

(4) 歯科保健訪問指導

表 31 訪問指導実施状況

年 度	実施日数 (日)	実施人数 (人)
平成 14 年度	0	0
平成 19 年度	9	12
平成 23 年度	3	5
平成 24 年度	3	4
平成 25 年度	11	46

(5) 離乳食教室 (歯みがきトレーニング)

表 32 離乳食教室実施状況

年 度	開催数 (回)	実施人数 (人)
平成 14 年度	6	54
平成 19 年度	5	82
平成 23 年度	—	—
平成 24 年度	5	32
平成 25 年度	6	40